【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-538705(P2005-538705A)
【公表日】平成17年12月22日(2005.12.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-050
【出願番号】特願2004-516595(P2004-516595)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　2/70　(2006.01)
Ｃ０１Ｂ　33/148　(2006.01)
Ｃ１２Ｇ　1/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｈ　1/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｃ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　2/00　Ｋ
Ｃ０１Ｂ　33/148
Ｃ１２Ｇ　1/00
Ｃ１２Ｈ　1/10
Ｃ１２Ｃ　9/00

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
米国特許第３，６１７，３０１号明細書には、少なくとも７００ｍ２/ｇの表面積および３～１２ｎｍ平均孔径を有するヒドロゲルをビールに添加しそしてそれを次いで除去するビールの清澄化法が開示されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
泡保持性、ナトリウム含有量、タノイド（tannoid）、全ポリフェノール、ＭｇSO_4で沈殿可能な窒素および加温ディー(warm day)には差が認められるが、残りの値は実質的に同じである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
本発明に従って処理されたビールの泡ポイント(foam point) は比較例と比較して未濾過液でも濾過液でも改善されている。ＭｇSO_4で沈殿可能な窒素の量は比較例におけるよりも僅かに多い。本発明に従って処理されたビールのナトリウム含有量は約２ｍｇ／Ｌ

だけ増加した。本発明に従って製造された未濾過液のタノイド量は比較例の未濾過液よりも僅かに多い。反対に濾過液では差が認められない。全ポリファノールの量は同様の挙動を示す。